



**ヴァディム・チジク (violin) 特別出演**

1975年、モスクワに生まれる。音楽一家のもとで6歳よりヴァイオリンを始め、8歳で初リサイタルを行う。

モスクワチャイコフスキー音楽院附属中央特別音楽学校、フランスリヨン国立高等音楽院、ドイツケルン国立音楽大学院を首席卒業。ボリス・ベルキン、ヘルマン・クレバース、イヴリー・ギトリス各氏に師事。

バガニーニ国際コンクール第3位、ポルトガロ国際コンクール第1位、チャイコフスキー国際コン

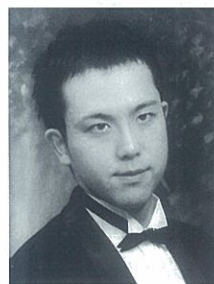
クール、リピツァー国際コンクール、ユベントス国際音楽祭入賞。ナテクシス銀行財団賞、ナディア・リリ・ブランジェ財団賞、ジョルジュ・シフラ財団賞など、数々の受賞を重ねる。

ヨーロッパ各国、アメリカ、ロシア、アジア各国でソリスト、室内楽奏者として幅広い活動を行っており、モスクワ交響楽団、北オランダ交響楽団、カルコフフィルハーモニー管弦楽団、フライブルグ交響楽団、ジェノヴァ劇場管弦楽団、パドヴァ室内管弦楽団等、またエマニュエル・パユ、ジャンクロード・ベヌティエ、セドリック・ティベルギアン、ダヴィッド・ゲリンガス、ピーター・ウィスベルウエイ等著名ソリストと共演。

モンペリエ ラジオフランス音楽祭、ブラド パブロ・カザルス音楽祭、サン・リキエ、ノアン、ブルゴニユ、グブヴィレール、コルシカ島、パリミュジコラ、グルノーブル等フランス国内各地、ヤングアーティストフェスティヴァル(ロサンゼルス)、サロンドザール(ソフィア)、イスラエルのエイラート、及びフェリシア・ブルメンタル(テルアヴィヴ)、岡山音楽祭、群馬国民文化祭、その他多くの音楽祭に招かれる。また、フランス3、MEZZO、RAI、日本テレビ等のテレビ番組、フランスミュージック、ラジオクラシック、NHK等のラジオ番組においても紹介され、その活動は各国で高い評価を得ている。

現在、パリ市立音楽院教授。アジア、ヨーロッパ各国よりマスタークラスに招かれ、多くのコンクール入賞者を出し、また全音出版社の楽譜改訂を担当するなど、教育者としても意欲的な活動を行っている。

南仏イエール国際音楽祭に於いて音楽監督としても活躍。



**重利 和徳 (piano)**

岡山県立岡山城東高校、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻、くらしき作陽大学音楽学部音楽学科モスクワ音楽院特別演奏コースピアノ専修、卒業。くらしき作陽大学音楽専攻科ピアノ専攻、修了。

ピアノを筒井恵子、日高七重、笠間春子、アンドレイ・ビサレフ、ウラディミール・オフチニコフ、山崎孝の各氏に師事。

第26回山陽学生音楽コンクール高校の部第1位、第46回全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位、

第76回読売新人演奏会出演。フッセル平和祈念第13回鳥栖ピアノコンクールにてフッセルグランプリ及びコンチェルト大賞受賞。

2003年、2006年、2008年にリサイタルを行う。ゼフィール合奏団とモーツァルトの2台のピアノのための協奏曲、くらしき作陽大学創立40周年記念演奏会にてオーケストラ・アンサンブル金沢とベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番《皇帝》、出雲フィルハーモニーアカデミーオーケストラとグリーグのピアノ協奏曲、福岡室内合奏団とベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番を演奏。

現在、岡山県立大学非常勤講師、くらしき作陽大学伴奏要員。



**岡本 都 (piano)**

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。上代知夫、的場喜美、ルイ・ヒルトブラン、ゲハルト・ベルグ、妹尾偉代の各氏に師事。

東京にてジョイントリサイタル、室内楽の夕べなどの演奏活動を行う。

岡山では、リサイタルを始め、岡山県演奏家協会のコンサートや、武蔵野アンサンブル等に出演。一昨年、ルーマニア国立放送室内管弦楽団日本公演にてベートーヴェンのピアノ協奏曲を協演し、好評を博す。

「グループ樹の会コンサート」を主宰し、23年間連続出演してきた。高校、中学、養護学校等を経て現在県立岡山盲学校教諭。音楽での感動を通して感性豊かな生徒の育成を目指し、教育現場での実践を積んでいる。岡山県演奏家協会会員。



**奥田 昌世 (soprano)**

山陽女子高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学別科修了。

山陽学生音楽コンクール、第32回・第33回(中学の部)、第35回(高校の部)第1位。

第54回全日本学生音楽コンクール高校の部大阪大会、第1位。第1回高校生のための歌曲コンクール優秀賞受賞。副賞としてイタリアへ短期留学。学部3年次には第49回藝大定期オペラ《フィガロの結婚》に花娘役で出演。学部卒業時、同声会主催新人演奏会出演、同声会賞受賞。

第38回岡山県新人演奏会出演。第18回日唄文化協会フレッシュコンサート出演、奨励賞受賞。

これまでに声楽を、矢部禮子、嶺貞子、佐々木典子の各氏に師事。現在、同大学院音楽研究科修士課程独唱専攻2年在籍中。岡山県演奏家協会特別会員。



**奥田 知世 (soprano)**

倉敷市出身。国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。二期会オペラ研修所修了。

第19回児童音楽コンクール金賞。第29回山陽学生音楽コンクール 中学校声楽部門第1位。

国立音楽大学声楽部会主催Vocal Concertに出演。第21回ソレイユ音楽コンクール本選出場。二期会サマー・コンサート、ニューイヤー・コンサートに出演の際、異例のポピュラー・ソングや演歌を歌い好評を得る。

オペラでは「フィガロの結婚」スザンナ、伯爵夫人、

「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ、「秘密の結婚」カロリーナ、「ランメルモールのルチア」のタイトルロールなどをレパートリーとする。

クラシック音楽だけではなく東京都内でライブ活動も行っている。矢部禮子、依田喜美子、中山早智恵、アン・ベッカムに師事。

二期会準会員。



**菊池 東 (director)**

広島大学工学部醸酵工学科卒業後、東京都民交響楽団に入団しサブコンサートマスターを経験し帰岡。その後、'74年倉敷室内管弦楽団(現倉敷管弦楽団)を設立。

以来現在まで33年にわたり同楽団の常任指揮者として、交響曲・管弦楽曲・協奏曲を中心に、バロック音楽から映画音楽・ミュージカル・オペラと幅広いレパートリーをもって各地で演奏会を開催。

'99年より倉敷音楽協会会長。児童音楽コンクール開催など、倉敷を中心として児童の音楽レベルの向上にも寄与。

現在、倉敷文化ソサエティ21の音楽部長として倉敷市文化振興財団主催の各種演奏会の企画に携わる。'06年秋には倉敷市文化章を受章している。

**倉敷管弦楽団**

「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合い言葉に昭和49年に設立され、文化都市倉敷市にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団として活躍を続け、今年で34年目になる。その間、昭和57年には岡山県教育関係功労者表彰、昭和60年には倉敷市文化連盟賞、平成16年には三木記念助成金、平成18年には福武文化奨励賞を受賞。また同年、常任指揮者の菊池東氏が倉敷市文化賞を受賞。

毎年1回開催する定期演奏会では、これまで客演指揮者に早川正昭氏、堤俊作氏、金洪才氏、佐渡裕氏、星出豊氏、田中一嘉氏、増井信貴氏ら、フルートでは世界的巨匠ジャン・ピエール・ランバル氏、ヴァイオリンではイヴリー・ギトリス氏、前橋汀子氏、漆原啓子氏、天満敦子氏、アナスタシア・チェボタリョワ氏、久保陽子氏、ピアノの深沢亮子氏、伊藤恵氏、花房晴美氏、ウラジミール・オブチニコフ氏、ルース・スレンチェンスカ氏、チェロの岩崎洗氏、山崎伸子氏、オーボエの茂木大輔氏、トランペットの津堅直弘氏、ホルンの松崎裕氏、ギターの福田進一氏らを招聘。また岡山県内で活躍している演奏家との共演も数多い。

